



会報

第8号

発行者 九州八十八ヶ所百八霊場会

〈事務局〉〒812-0037 福岡市博多区御供所町 2-4 東長寺内

電話 092-291-4459 FAX 092-291-4504

【ホームページ】<http://www.kyushyu88.com>【Facebook】<http://www.facebook.com/kyusyu108>

『熊本地震復興祈願祭』～復興への祈り～

去る平成二十八年八月二十八日、阿蘇外輪山の大自然に設置された屋外劇場アスペクタ（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）に於きまして、熊本高森ライオンズクラブ（中尾三郎会長）主催による「がんばるばい熊本」阿蘇ミーティング2016夏が開催され、同イベント内において『熊本地震復興祈願祭』がなされました。

被災者の方々の復興の一助になればとの主催者の想いに賛同して、当霊場会会長を始め熊本支局長、霊場会札所寺院有志参加のもと法会



が執行されました。

予報では豪雨を伴う雷雨でしたが、不動明王御縁日にあつて御加護をいただいたのか、不思議なことに天候に恵れました。

午後二時より原口会長導師のもと、在家仏前勤行次第に則りまして法会が開始されました。

そして赤星善生熊本支局長が原口会長の災害物故者慰霊と復興を願う願文を表白しました。

その後、祈願太鼓の音に合わせ参列の皆様と般若心経を誦経し法会は一座無魔成満しました

主催者発表によりますと、当日来場者数は約三〇〇〇人。準備した各食事類一万五千食全て無償提供されました。



【熊本地震復興祈願祭 願文】

慎み敬つて、真言教主大日如来、両部界会諸尊聖衆、殊に別いては弘法大師遍照金剛、三國伝燈諸大阿闍梨耶、総じては尽空法界一切三宝の境界に白して言さく。

応に今、恭しく尊前を荘厳し、我等一心の丹誠を以つて『熊本地震復興祈願祭』に臨（のぞ）みて、重ねて懇ろに般若の妙経を誦誦し、功德甚深なる真言を持念して、現当二世の安樂を誓ひ給ひし御宝号を唱え奉る所也。

然れば茲に、本日、寄り集いたる有缘の人々の純浄の誠心より積みたる一切の善根功德を併せて、熊本地震物故者精霊の追福供養の為に廻向せんとす。

更には、震災被災地の復興の歩みを速やかにして、人々の生活に安心と安全が戻り来りて、笑顔溢れる、心豊かな郷土に立ち直る事を至心に祈願し奉る。

仰ぎ願わくは、此の功德を以つて各々精霊は速やかに離苦得樂し、本有の性徳を開顯し、益々請願を振起して、二利の真果を円成せん事を。

因つて金磬を鳴らし、名簿を唱えて

廻向すること左の如し。

一、三世覺満十方賢聖浄佛国土成就衆生の為に

一、弘法大師を始め奉て三國伝燈諸大阿闍梨耶普賢行願皆令満足の為に

一、金輪聖王天長地久の奉為に

一、密教紹隆自利利他円満の為に

一、熊本地震物故者諸精霊法味喰受（ざんじゅ）速疾円満の為に

一、本日参集の各人速得信心家門繁栄如意円満の為に

一、震災被災地復興速疾成就の為に

一、世界平和万民豊樂乃至法界平等利益の為に

右唱え挙ぐる所件の如し。

維時 平成二十八年 今月 今

九州八十八ヶ所百八霊場会

会長 原口 元秀 敬白

◎当日の法要出仕者（敬称略）

（導師）原口元秀

（職衆）大石隆敬

小牟田昌彦

中村禎成

成松昇紀

（会奉行）味岡戒孝

赤星善生

原口性亮

川原光照



本堂前。現在は規制線は外されている

『熊本地震…その後』熊本地区広報委員からの現状報告

清々しい空気、穏やかな日差しの中、熊本市八代市の第五十四番札所白雲山医王寺様に伺いました。本堂を見据えた時に、言葉が出ませんでした。傾いた柱、歪んだ本堂、今にも崩れ落ちそうな屋根瓦。併設する庫裏屋根にはブルーシートが覆われていました。

平成二十八年四月十四日に起きた震度七を記録する熊本地震、十六日の本震、未だ継続する余震回数は四千回を超えました。(震度一以上の発生回数四二一九回。平成二十九年一月九日現在。気象庁データより)

熊本県内にある霊場会下寺院のほとんどが被災しました。最も被害の深刻な医王寺では、今なお本堂への立ち入り規制がされています。

「ようやく寺庭の尊像を定位置に戻すことができました」「ご参拝頂く皆様には、堂内での勤めが叶わずご迷惑をお掛けし心苦しい限りなんです」とご住職のお言葉。参拝の折には是非「一報願いたい」とのことでした。

会報発行の頃には、熊本地震発生から一年を迎えます。地震関連の報道は減りましたが、未だ復興には程遠い現状が被災各地に残っています。

第十九回 先達研修会 報告



渡辺先達委員長より御挨拶

九月十三日(火)午後二時より四時迄の間、第一番札所東長寺において先達研修会が開催されました。参加者は二十八名で、そのうち十名が新たに先達として入会することになりました。

奈須先達委員による司会進行のもと、先達研修会が開会されました。先ず、御法楽のお勤めとして般若心経を一同で読経。その後、渡辺先達委員長より挨拶がありました。続いて新人先達十名は別室に異動して



松山師・桐井師両先達委員による指導

松山先達委員と桐井先達委員と御両名によりまして「巡拝の作法と勤行」について指導されました。

会場に残った参加者は第四十一番札所天長寺より長谷川慈照僧正を講師として招き高野山金剛流御詠歌の高野山第三番の御詠歌『楊柳』を元に、各札所の御詠歌を唱え方を実践を交えて指導を受けました。

そして休憩を挟み、別室の新人先達も加わりまして、桐井先達委員より「先達の心得」を講習されました。

長谷川師による御詠歌講習



引き続きまして、第一観光より十月十三日～十四日に開催される平成二十八年度の巡拝講習会に関する案内告知がなされました。

次に、堤理事長より総括としての挨拶がなされました。そして最期に御法楽として御宝号をお唱えし閉会となりました。

◎参加者 全二十八名

- ・霊場会理事長
- ・先達委員会五名
- ・霊場寺院僧六名
- ・一般先達十五名
- (参加者のうち初参加十名)
- ・第一観光一名



平成二十八年度 巡拝講習会 報告

平成二十八年十月十三日、十四日の日程で、平成二十八年度の巡拝講習会が開催されました。

本来であれば本年は熊本県を中心とした札所を巡拝の予定でした。

しかし、御承知の通り震災の影響を考慮しまして、大分、熊本、佐賀、長崎の一部の札所を一泊二日の日程での巡拝することとなりました。

当日は福岡、大分など九州各方面から六十五名の参加となり楽しくも有難い巡拝となりました。

開校式は大分県日田市の九十五番札所明王寺で執り行いまして、原口会長より挨拶を頂くと共に一座お勤めを致しました。

その後そこから福岡県に移動しまして第五十九番札所光明寺、第十番札所不動寺と巡拝し、佐賀県の第四番札所不動院から宿である玉名温泉の宿泊ホテルへ向かいました。

ホテルでは玉名温泉の湯につかり旅の疲れを癒すと共に、夕食では宴会が催され翌日からの巡拝への鋭気を養いました。

翌日はフェリーに乗船して一路長崎県へ向かいました。

島原は雲仙普賢岳のすそを通り第六十四番札所龍照寺へ。

最後は長崎市内にあります第六十五番札所延命寺にて閉校式となりその後昼食を頂きました。

閉校式では新たな霊場会の先達の任命などもあり、二日間という短い日程ではありましたが、たくさんのご縁を頂いたありがたい巡拝となりました。



九州八十八ヶ所百八霊場お砂踏み出開帳 『一日でお遍路さん九州八十八ヶ所お砂踏み』



去る平成二十八年十一月十日より二十二日までの十三日間にわたり宝山ホール(鹿児島県文化センター)に於いて鹿児島では初となる「九州八十八ヶ所百八霊場お砂踏み出開帳」が「一日でお遍路さん九州八十八ヶ所お砂踏み」と題して「主催」の鹿児島テレビ「協力」九州八十八ヶ所百八霊場鹿児島支局・高野山真言宗鹿児島宗務支所のもとに執り行われました。



野山霊宝館より3D再現「萬日大師」座像並に当時の彩色を再現した「想定色平成再生版両部曼荼羅図(血曼荼羅)」が出陳なされました。来訪者方皆一様に「萬日大師」の慈悲に溢れる御尊容と「血曼荼羅」の迫力ある彩色に感動し手を合わせられていました。

初日は午前九時二十分より霊場会会長原口元秀僧正を導師に、同会理事堤大恵僧正並に前会長野崎俊



賢僧正を協導師にお迎えし、開白法会を執行。法会后会長より「今の世の中では〈当たり前〉という言葉を良く耳にします。今回のお砂踏みで一〇八の仏さまをお参りするにより〈当たり前〉の中に隠されている〈感謝〉を見つけていただきたい」とのお言葉をいただき「一日でお遍路さん」がスタート致しました。

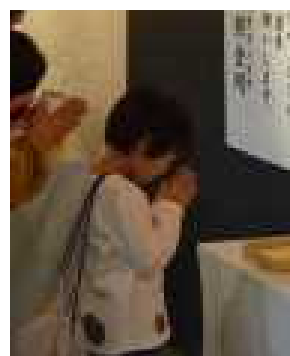
十六日には「お遍路サロン」ようやく



ん」が一日限定で別会場にて開催。第四十三番札所法城院小牟田僧正による法話等催されました。

最終日には午後六時四十五分より結願法会を執行。出仕者全員で般若心経をお唱えつつ各礼場の本尊様一尊毎に御法楽を捧げました。

期間中、五千人超の方の中に初めて「真言宗」という宗派の存在を知った方が多数いらっしゃいました。しか



し皆様より「良い御縁だった」「こんなに心が落ち着いたのは久しぶり」「また来年も開催してください」との声を頂戴いたしました。参拝後「満願の証」を受け取られた方々の笑顔が印象的でした。

【編集後記】

今回会報の編集を担当させていただきましたが想像以上に苦勞致しました。本年度は熊本地震という災害を受けて如何に我々が僧侶として被災地の方々に寄り添えるかを日々思索する毎日を通りしております。

会報を通じ霊場会としての活動が更に発展し有縁の皆様が安心立命の一助となれば幸いです。

※広報委員会

福岡県	羽坂孔全	佐伯公経
佐賀県	山口光玄	松本龍希
熊本県	味岡戒孝	中村禎成
長崎県	前田大輔	
大分県	吉水亮善	岡部啓聖
宮崎県	成松昇紀	横井弘照
鹿児島	川上昇観	小島聖弘